

【教員氏名】

山田 伊知郎
研究室:聖アンデレ館 9 階 907 号室
メールアドレス:i-yamada@andrew.ac.jp

【授業形態】

講義

【講義・演習概要】

会計学を用いる目的によって分類すると、組織外部への報告を目的とする財務会計と、組織内部での利用を目的とする管理会計に分けることができる。組織内部で会計を利用しようとする管理会計は、経営戦略や業務計画の立案・実行に関する意思決定に深く関係するシステムである。さらに、組織構成員に組織の目標などを何ほどの程度求められるのかを明らかにすることによって、人を動かす影響システムとして働く。

授業では、管理会計に関する基本的な考え方と基礎知識を提供する。その後、いくつかのテーマに沿ってケースを取り上げ、より具体的なイメージがわくような工夫をする。

【学習目標】

組織の中に存在する仕組み・システムがどのように成り立っているのかを具体的に理解する。また、仕組み・システムが作られた時の状況に依存し、環境の変化に応じて再構築を必要とされることを理解することを目的とする。

管理会計の基礎知識を獲得すると同時に、受講生自身が興味を持ったいくつかのトピックスについて、深く理解し、自分の言葉で人に説明できるようになることを達成目標とする。

【講義計画】

- 第 1 回:管理会計とは(イントロダクション)
- 第 2 回:組織の管理会計(1)組織図と機能
- 第 3 回:組織の管理会計(2)コストセンターとプロフィットセンター
- 第 4 回:予算管理(1)予算の編成
- 第 5 回:予算管理(2)予算の弊害
- 第 6 回:伝統的コストマネジメント
- 第 7 回:伝統的コストマネジメントの問題点の整理
- 第 8 回:直接原価計算
- 第 9 回:CVP 分析
- 第 10 回:設備投資の意思決定(1)経済性分析
- 第 11 回:設備投資の意思決定(2)差額原価収益性分析
- 第 12 回:マネジメントコントロールシステム(1)
- 第 13 回:マネジメントコントロールシステム(2)
- 第 14 回:業績管理
- 第 15 回:戦略利益の評価、まとめ

【成績評価の方法】

試験評価:80% レポート:0% 出席:20%

【使用テキスト】

なし

【参考文献】

谷武幸著(2011)『エッセンシャル管理会計 第 2 版』、中央経済社。
加登豊著(1999)『管理会計入門』日本経済新聞社。

【準備学習の指示(事前学習 30 時間、事後学習 30 時間)】

授業の開始前に、テキストを一読しておくことをお勧めします。

【その他備考(担当教員用)】

コストマネジメントなどの授業中、計算原理を説明した後、簡単な例を用いて計算方法を確認します。電卓などを持参してください。

【備考(管理者用)】

(旧:管理会計論)02~07 生読替